

平成27年度 観光振興部の主要な事業

第2期産業振興計画の目標達成に向けて／県外観光客入込数400万人以上・観光消費額1,100億円以上

新たな観光客の獲得

H20 H25 H27
30.5万人→55万人→60万人
(H27単年度の目標 +5万人)

リピーターの拡大

H22 H25 H27
75万人→107万人→107万人
(H27単年度の目標 ±0万人)



国際観光の推進

H22 H25 H27
1.6万人泊→2.1万人泊→3.2万人泊
(H27単年度の目標 +0.4万人泊)



1

ここがポイント



高知家プロモーションを観光面で深化し誘客を強化

エッジの効いたトリップをつくる、売る、高知家の家族がもてなす

- 旅行エージェントを通じない個人手配のニーズに対応するため、高知家の家族をメインに据えた高知家ならではのトリップを造成し、特設サイトで販売。メディアタイアップやバナー出稿、屋外広告の展開などで特設サイトへ誘導
- 高知家の家族のおもてなし気運の醸成

マーケットイン型旅行商品造成・販売支援の拡充

- 食の旅行商品化づくりの推進
- 店頭系（パンフレット系）エージェントとタイアップした旅行商品ブランド化事業の継続
- メディア系エージェントとタイアップしたツアーの造成と販売

コンテンツを共有しタイムリーに効果的に展開

Contents

食

- ・ 第2回高知家の食卓県民総選挙結果の活用
- ・ 食の旅行商品化
- ・ 既存の食イベントの磨き上げ

人

- ・ <高知家の家族>
- ・ 観光コンシェルジュ
- ・ 生産者、料理人
- ・ 地域の方々

歴史

- ・ 高知市と連携した龍馬生誕180年事業の展開
- ・ 幕末志士社中のコンテンツのリニューアル

体験

- ・ 体験型ツアーの磨き上げ、新規造成

高知家まるごと東部博

2

ここがポイント

広域観光組織の機能強化

- 地域地域で自主的・自律的に旅行商品を生むための態勢づくりへの支援を強化
- 広域観光組織が担うべき機能の整理と年次計画に基づく機能強化に向けた支援
 - ・ 広域観光プロデューサーの設置
 - ・ 広域観光組織のネットワーク形成
 - ・ 各広域組織のステージに応じてステップアップを支援



地域地域で観光客を受け入れる基盤づくり

3

ここがポイント

国別戦略

- 高知県の海外での認知度を飛躍的に向上させる
- 台湾・香港を主要ターゲットにしつつ高知県の魅力を世界に情報発信
 - 戦略的・計画的なセールス活動の展開

高知家流おもてなしプロジェクト

- 「質」の高い旅行コンテンツの造成（観光受入れ施設の拡大とネットワーク化）
- おもてなし添乗員の確保
- セールス活動の徹底強化

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて国際観光を抜本強化

Contents

自然

体験

食

観光受け入れ先を増やしオーダーメイドの旅行を提供

外国人観光客の受入基盤整備

外国人観光客の受入態勢を2年間で強力に整備

- 市町村や民間団体等が行う受入基盤の整備について総合的に支援
 - ・ 標識・サインの多言語化
 - ・ 案内ツールの多言語化
 - ・ トイレのユニバーサル化
 - ・ Wi-Fi環境整備
 - ・ 消費税免税店の開設

目標達成に向けた要素ごとの施策展開

取組方針1 核となる観光拠点の形成

(1) 観光拠点等整備事業費補助金 221,000千円
〔H26予算：222,000千円〕

・観光拠点整備事業

産業振興計画（地域アクションプラン）に位置づけた取組で、地域の誘客の目玉となる観光拠点を形成する事業に対して補助する。



(2) 観光振興推進事業費補助金
【こうち旅広場管理運営事業】 222,631千円
〔H26予算：208,662千円〕

JR高知駅前に設置された観光拠点「こうち旅広場」の管理運営について、本県観光のエントランス機能と地域への周遊を促すハブ機能を発揮するよう、高知県観光コンベンション協会に補助する。



取組方針2 観光資源の発掘・磨き上げの推進

(1) 観光拠点等整備事業費補助金【再掲】

・観光商品磨き上げ事業

地域アクションプランに位置づけた取組で、既存の観光商品の更なる磨き上げや新たな観光商品の創出など観光客の増加を図る取組に対して補助する。

・観光資源魅力向上事業

観光客の快適性を高めるためのソフト事業や新たな事業の立ち上げなどの取組に対して補助する。

・広域観光圏二次交通対策支援事業 **NEW**

2市町村以上をまたぐ周遊観光バスの運行に対して補助する。

(2) 足摺海洋館管理運営費 63,895千円 〔H26予算：60,656千円〕

<管理運営費 57,623千円>

足摺海洋館を管理運営することにより、観光客の誘致を図るとともに、社会教育施設として海の知識の普及に寄与する。

<基本計画策定費 6,272千円> **NEW**

館のリニューアル等を検討するための基本計画を策定する。

(3) 観光振興推進事業費補助金【イベント開催・支援事業】
27,746千円 〔H26予算：29,166千円〕

高知城を活用した特別イベント（お城まつり）の開催や、高知の「食」をテーマにしたイベント（土佐の豊穰祭）などの開催について、高知県観光コンベンション協会に対して補助する。

取組方針3 広域観光の推進

(1) 広域観光推進事業費補助金 163,000千円
〔H26予算：63,000千円〕

・地域博覧会開催支援事業

広域観光の推進を図るため、地域が主体となって開催する博覧会に要する経費等に対して補助する。

・広域観光推進事業 **拡充**

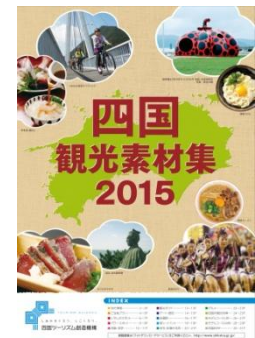
広域観光組織が担うべき機能を持つ体制づくりのため、各エリアの広域観光組織が定める中長期計画を基に、各組織のステージに応じて事業費等を補助する。

(2) マーケットイン型旅行商品造成販売支援事業 **拡充**
13,951千円 〔H26予算：11,709千円〕

地域が主体となった、全国から人を呼べる売れる旅行商品づくりを進めるため、旅行会社等とタイアップして、旅行商品を造成・販売するとともに、旅行会社の造成担当者等のアドバイザーによる旅行商品の磨き上げ等を行う。

(3) 四国ツーリズム創造機構負担金 35,000千円
〔H26予算：35,000千円〕

四国4県が連携して首都圏等で商談会の開催や航空会社とのタイアップ事業等を実施することで、四国及び高知県の認知度向上や誘客促進を図る。



取組方針4 効果的な広報・セールス活動の推進

(1) 首都圏等観光情報発信事業 18,821千円〔H26予算：21,246千円〕

テレビ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体で、記事や番組として取り上げてもらうよう働きかけるパブリシティ活動や、県外事務所によるPR活動により、全国における本県観光の認知度拡大と誘客促進に取り組む。



(2) 観光振興推進事業費補助金

【観光客誘致事業（国内）】 78,179千円〔H26予算：71,059千円〕

県外の旅行エージェント等に対するインセンティブやセールスキャラバン、モニターツアーの実施などについて、高知県観光コンベンション協会に対して補助する。

【プロモーション事業】 118,245千円〔H26予算：158,637千円〕

各種メディアや紙媒体を活用した観光情報の発信やフィルムコミッション活動、「リョーマの休日～高知家の食卓～」の取組等について、高知県観光コンベンション協会に対して補助する。

(3) 高知県地産外商公社プロモーション推進事業費補助金 **NEW**

47,520千円

平成25年度から開始した「高知家」プロモーションと一体的に観光客誘致及び観光に関する広報事業等を推進し、より多くの観光客の誘客を図るため、（一財）高知県地産外商公社に事業費を補助する。

取組方針5 人材の育成

(1) 観光ガイド育成事業費 2,118千円

〔H26予算：2,733千円〕

高知県を訪れる観光客の満足度を高めるため、県内各地域で観光ガイド団体の連携、育成とガイド技術の向上に取り組む。



(2) マーケットイン型旅行商品造成販売支援事業【再掲】

地域が主体となった、全国から人を呼べる売れる旅行商品づくりを進めるため、旅行会社等とタイアップして、旅行商品を造成・販売するとともに、旅行会社の造成担当者等のアドバイザーによる旅行商品の磨き上げ等を行う。

取組方針6 おもてなしの向上

(1) 県民総おもてなし推進事業費 3,941千円

〔H26予算：1,058千円〕

“おもてなしキャンペーン期間”を設定し、一斉清掃をはじめとするおもてなしの取組を一体的・集中的に実施することなどにより、県民総出での観光客へのおもてなしの気運の醸成や効果的なアピールにつなげ、観光客の満足度向上を図る。

(2) おもてなし推進連絡調整費【タクシー・トイレ満足度向上事業】

1,275千円〔H26予算：3,465千円〕

タクシーとトイレの満足度向上を図るため、タクシーの満足度調査を行い、接客向上に取り組むとともに、「おもてなしトイレ」の認定及び再チェックを実施する。

(3) 観光振興推進事業費補助金【観光客受入事業】 169,881千円

〔H26予算：176,444千円〕

観光客の利便性向上、周遊促進などを図るため、MY遊バスの運行や龍馬パスポート、臨時観光案内所の設置や渋滞対策、おもてなし研修の実施、おもてなしタクシーの取組等について、高知県観光コンベンション協会に対して補助する。

(4) 広域観光案内板設置工事請負費 10,000千円

〔H26予算：10,000千円〕

観光客の利便性を高めるため、観光拠点等を中心とした広域観光ルートを紹介する広域観光案内板や誘導標識等を設置する。

(5) 国際観光受入態勢整備事業費補助金 34,000千円 **NEW**

外国人観光客の受入態勢の向上のため、多言語による観光案内板や誘導表示、パンフレット等案内ツール及免税店開設に伴うPR資材作成等のメニューをパッケージ化し、市町村や民間団体等に対して重点的に補助する。



取組方針7 スポーツツーリズムの推進

(1) スポーツツーリズム推進事業 17,129千円 〔H26予算：11,475千円〕

スポーツツーリズムを推進するため、プロ・アマスポーツの誘致活動を行うとともに受入態勢の充実を図る。



(2) 観光振興推進事業費補助金【スポーツ誘致事業】 114,555千円

〔H26予算：120,365千円〕

スポーツツーリズムを推進するため、プロスポーツのキャンプや大会の誘致、アマスポーツの合宿への助成を行う高知県観光コンベンション協会に対して補助する。



取組方針8 国際観光の推進

(1) 国際観光推進事業 24,624千円 〔H26予算：24,370千円〕

本県への外国人観光客の誘致促進を図るため、海外での認知度向上や誘致活動、受入態勢の整備を行うとともに、誘客拡大に向けた総合的な推進体制の構築を行う。

(2) 広域観光案内板設置工事請負費【再掲】

観光拠点周辺及び移動ルート上における広域観光案内板の多言語化等を行い、外国人観光客の利便性向上を図る。

(3) 国際観光受入態勢整備事業費補助金【再掲】 **NEW**

外国人観光客の受入態勢の向上のため、多言語による観光案内板や誘導表示、パンフレット等案内ツール及免税店開設に伴うPR資材作成等のメニューをパッケージ化し、市町村や民間団体等に対して重点的に補助する。

(4) 観光振興推進事業費補助金

【観光客誘致事業（国際）】 25,698千円 〔H26予算：32,725千円〕

外国人観光客の誘致促進を図るため、海外でのセールス活動や博覧会、商談会への出展、海外の旅行会社やメディア等によるモニターツアー実施、旅行商品造成への支援等について、高知県観光コンベンション協会に対して補助する。

【観光客受入事業（国際）】 47,920千円 〔H26予算：7,541千円〕

国際観光を推進するため、旅行商品の造成、セールス、プロモーション、受け入れ等の取組を行う高知県観光コンベンション協会に対して補助する。

・多言語によるWebサイトやパンフレット、動画など、クロスメディアによる海外への情報発信機能の強化 **NEW**

・他県との徹底した差別化を図り本県への誘客を図るため、本県の豊かな自然を活かした様々な体験や温かいおもてなしなど本県の強みを活かしたツアーの実施 **拡充**

400万人観光と観光消費額1,100億円の定着に向けて

<見直し(廃止)事業>

■ 観光振興部・観光コンベンション協会によるプロモーション活動

観光振興推進事業費補助金(プロモーション事業) 32,080千円((一)32,080千円)【観光政策課】

- 【事業概要】 ①県民が観光客に勧めたい飲食店を選ぶ「県民総選挙」を実施
②近隣県において、本県のイベント情報等をCMで放映
③関西圏での雑誌広告
- 【これまでの成果】 ①H25実施総選挙:投票総数14,314世帯(投票率4.5%)
イチオシシングルメガイド13万5千部発行(H26年度発行)
県民総選挙を活用した旅行商品化(晩酌きっぷなど)
②H26CM制作本数:26本(予定)
H26 CM放送回数:岡山県・徳島県・香川県・愛媛県で約440回(予定)
③H26:関西雑誌2誌に掲載
- 【廃止・休止理由】 ①2回の結果を継続利用することで、H27は実施しない。
②③高知家プロモーションとの一体的展開による効果拡大

首都圏等マスメディア情報発信事業 2,487千円((一)2,487千円)【観光政策課】

- 【事業概要】 首都圏マスメディアへのプレスリリース、情報交換会の実施
マスメディアとのネットワーク構築
- 【これまでの成果】 広告換算 H25:50件 26億8千万円
- 【見直し理由】 事業内容は継続
(一定のマスメディアとのネットワークやノウハウが蓄積されたため、委託料の一部を見直し)

■ 観光商品づくりの促進

観光商品ブランド化支援事業 11,709千円((一)11,709千円)【地域観光課】

- 【事業概要】 全国から人を呼べる観光商品ブランドを生み出すため、旅行会社の専門家等からマーケットの動向や旅行トレンドを学ぶとともに、専門家等の現場指導による地域資源の磨き上げを行い、広域観光組織等の商品造成やセールス活動の取組を促進
- 【これまでの成果】 既存の観光商品や地域の食の磨き上げ等による観光商品のブランド化やそのノウハウの習得
- ※観光商品:県内6ブロックで体験プログラム等約70件(東部博約50件)磨き上げ中。うち数件が来年度の大手旅行会社観光商品パンフに掲載予定(東部博パンフは24件予定)
- ※地域の食:県内7ブロックで8商品化中
うち3件着地型旅行商品、1件発地型旅行商品として販売
- 【見直し理由】 旅行トレンド等を学ぶ講演会(広域観光みらい会議)について、全国的なマーケット動向の習得ができたことから一時中断。専門家等による観光資源の更なる磨き上げを継続するとともに、商品の造成とタイムリーな販売に注力することで、全国に向けた観光商品のPR等をパワーアップしていく

<課題解決先進枠等>

1 ■ 高知家プロモーションを観光面で深化し誘客を強化

高知県産外商公社プロモーション推進事業費補助金 47,520千円((一)47,520千円)【観光政策課】 **NEW**

- 【事業概要】 ・旅行エージェントを通じない個人手配のニーズに対応するため、高知家の家族をメインに据えた高知家ならではのトリップを造成し、特設サイトで販売。メディアタイアップやバナー出稿、屋外広告の展開などで特設サイトへ誘導
・高知家の家族のおもてなし気運の醸成
- 【解決すべき課題】 「高知家」プロモーションとの一体化によるセールス&プロモーションの強化
- 【見込まれる成果】 高知県の認知度を飛躍的にあげ、旅先に高知県を選ぶ人を増加
※[目標]よさこいネット 月間70万ページビュー

新設

1 ■ マーケットイン型旅行商品造成・販売支援の拡充

マーケットイン型旅行商品造成販売支援事業 13,951千円((一)13,951千円)【地域観光課】 **拡充**

- 【事業概要】 旅行会社の専門家等が各ブロック毎に現地に入り地域資源の磨き上げ等を継続するとともに、磨き上げた旬の観光資源(体験プログラム等)をタイムリーに販売することで、県外客の誘客効果を高めていく
- ・観光商品ブランド化支援事業の継続によるエリア毎の観光資源の更なる磨き上げ
・食の旅行商品のプロモーション等との連携による更なる誘客の促進
・メディア系旅行エージェントとの連携による多様な旅行商品の造成・販売を実現
- 【解決すべき課題】 大手旅行会社の専門家等のアドバイスにより磨き上げた観光資源をタイムリーな販売かつ確実な誘客につなげる
- 【見込まれる成果】
※[目標] ・更なる地域資源の磨き上げ(各ブロック3件×6ブロック=20件)
・着地型・発地型旅行商品の造成、販売による誘客(目標4,800人泊)

見直し

<見直し(廃止)事業>

■ 広域観光組織の支援

広域観光推進事業費補助金(博覧会補助除く)18,000千円(一)18,000千円

【地域観光課】

- 【事業概要】 地域自らが観光資源を磨き上げ、1泊以上滞在することができる観光地づくりを推進
- 【これまでの成果】 各広域観光組織の誘客・集客の促進や受入体制づくりなど、自律的な活動に向けた基盤強化
- 【見直し理由】 これまで取り組んできた地域の観光人材の育成や地域博覧会の開催によるノウハウの蓄積、関係者が一体となった推進体制の構築などの成果を踏まえ、広域観光組織を中心とした自律的な観光地づくりへの支援を強化

見直し

■ 海外情報発信等

海外情報発信事業 4,000千円(一)4,000千円【観光政策課】

- 【事業概要】 様々な手法を組み合わせた情報発信の展開
(台湾でのWebサイトをはじめ、ターゲット市場での雑誌や新聞掲載など)
- 【これまでの成果】 本県の認知度向上と外国人観光客の増
※観光庁・宿泊旅行統計調査
(外国人延べ宿泊者数・10人以上宿泊施設)
【上半期】H25:9,940人泊 → H26:13,760人泊 約4割増
※台湾Webサイト H25:月間約2万ページビュー
- 【廃止理由】 海外への情報発信のあり方を抜本的に見直し、コンベンション協会への補助事業の中で統一的な情報発信を実施

観光パンフレットによる情報発信 21,217千円(一)21,217千円【観光政策課】

- 【事業概要】 シーズンごとのお薦め情報や観光施設等の情報を広く紹介し、誘客や周遊の促進やリピーターを獲得
- 【これまでの成果】 主要観光施設、道の駅、高速道路SA、コンビニ等で配架
※H26配布予定:シーズンブック48万部、こうちじん10万部
発地向けパンフ10万部、観光ガイドマップ10万部
- 【見直し・廃止理由】 「ゆるり土佐時間」の廃止、配付パンフ制作部数の見直し

■ 観光客の受入体制の整備

観光案内板等整備事業費補助金 12,000千円(一)12,000千円【おもてなし課】

- 【事業概要】 市町村等が実施する観光地や観光ルートへの誘導標識や観光案内板の多言語化事業及び景観整備事業、外国人観光客用のパンフレットやホームページ作成等の事業に対する補助
- 【これまでの成果】 H25実績 17市町村 25ヶ所 整備
- 【廃止理由】 外国人観光客誘致の高まりに応じ、インバウンドに特化した受入態勢の一層の整備を図る新たな補助制度を創設

新設

<課題解決先進枠等>

2

■ 広域観光組織の機能強化

広域観光推進事業費補助金(博覧会補助除く)52,000千円(一)52,000千円【地域観光課】 **拡充**

- 【事業概要】 広域観光組織が担うべき機能を持つ体制づくりを進めるため、各広域観光組織が定める中長期計画をもとに、各ステージに応じた事業を支援
- 【解決すべき課題】 各市町村等との役割分担などによる各広域観光組織の機能強化
- 【見込まれる成果】 広域観光組織を中心に関係者が連携して取組を進めることにより、観光客に選ばれ
る観光地づくりを効果的かつ面的に加速

広域観光アドバイザー事業 4,904千円(一)4,904千円【地域観光課】 **NEW**

- 【事業概要】 各広域観光組織の課題をピックアップするとともに各広域観光のあり方についての
アドバイス等を行う
- 【解決すべき課題】 目指すべき広域観光組織の実現に向けた中期計画の策定と実践
- 【見込まれる成果】 広域観光組織や各市町村、観光協会の役割分担と業務の集約化
また、各広域観光を実現するための周遊プランの造成や組織の自律化に向けた取り
組みの展開

3

■ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた国際観光の抜本強化

観光振興推進事業費補助金(海外への情報発信の強化) 35,000千円(一)35,000千円【観光政策課】 **NEW**

- 【事業概要】 海外での認知度を向上させ、本県へのさらなる誘客を図るため、外国人観光客の観
光情報源としてニーズの高い多言語によるWebサイトやパンフレット・動画など、海外
への情報発信コンテンツを充実
- 【解決すべき課題】 台湾などターゲット市場における認知度向上
- 【見込まれる成果】 外国人観光客の増加
※【目標】多言語Webサイト 月間13万ページビュー

拡充

観光振興推進事業費補助金(高知家流おもてなしプロジェクトの強化) 5,929千円(一)5,929千円【観光政策課】

- 【事業概要】 豊かな自然や温かいおもてなしなど、本県の強みを活かしたツアーを外国人観光客
に提供することで、他県との徹底的な差別化を図り、本県へのさらなる誘客を図るため、
パイプができた海外旅行会社に対するセールス活動強化と、モニターツアー実施によ
る旅行会社の掘り起こしを実施
- 【解決すべき課題】 顧客のニーズに対応できる商品の造成
他社と差別化する商品を販売する旅行会社へのセールス活動の強化
- 【見込まれる成果】 他県と差別化した質の高い旅行商品の提供による海外富裕層の取り込み
※【目標】ツアー催行18本

3

■ 外国人観光客の受入態勢を2年間で強力に整備

国際観光受入態勢整備事業費補助金 34,000千円(一)34,000千円【おもてなし課】 **NEW**

- 【事業概要】 外国人観光客の受入態勢の整備を加速するため、市町村の他に組合団体等民間
も対象に加え、観光案内板やパンフレット等の多言語化のほか免税店開設に伴う
PR資料作成等のメニューをパッケージ化し、重点的に支援
- 【解決すべき課題】 外国人観光客のニーズ(コミュニケーション・ショッピング等)への対応
- 【見込まれる成果】 外国人観光客の一層の増加と消費拡大による地域経済の活性化

1 高知家プロモーションを観光面で深化し誘客を強化

「高知家」の認知度向上による「好感度」「行きたい度」「住みたい度」の向上を面的に展開



①

高知県のブランディング戦略

移住促進

観光振興

地産外資

②を実施することにより、面もさらに拡大

③

高知に行きたい、行く人を増やす

②

観光意向度向上と誘客へ向けたセールス&プロモーション

観光振興部のプロモーションの予算をスクラップして統合

「高知家」のイメージ、クリエイティブを観光に最大限に活用して観光プロモーションを展開
高知に行きたい！と思わせるコンテンツを展開

<主なターゲット>

- ・ 20~30代男女

20~30代は、行動力があり、物事に興味が強く、Webに強い世代であり、将来的に困り込みたい世代

<事業内容>

- ・ 旅行エージェントを通じない個人手配のニーズに対応するため、高知家の家族をメインに据えた高知家ならではのトリップを造成し、特設サイトで販売。メディアタイアップやバナー出稿、屋外広告の展開などで特設サイトへ誘導

これまでの旅行商品ブランド化事業や食の旅行商品化の取り組み成果も活用

- ・ 高知家の家族のおもてなし気運の醸成

エッジの効いたトリップをつくる、売る、高知家の家族がもてなす



KPI / よやくインターネットのPVの大幅増へ
(月平均60万PV ↓ 月70万PV)

27年度の取組・目標

マーケットイン型旅行商品造成販売支援事業

【事業概要】
全国から人を呼べる観光商品ブランドを生み出すため、旅行会社の専門家等の現地指導による地域資源の磨き上げを行うとともに、広域観光組織等の商品造成やセールス活動の取組を強化する。
併せて、磨き上げた旬の観光資源（体験プログラム等）をタイムリーに販売することで、県外客の誘客効果を高めていく。

①募集型旅行商品造成販売事業 **NEW** 6,600千円

- ・旅行会社（メディア系）をパートナーとして選定
- ・旅行会社、地域の観光事業者、観光協会等と複数の広域観光組織によるPTを設置し、地域の食と体験型メニュー等の組み合わせによるツアーを造成、販売

目標：ツアーの造成販売
年20本×3社 = 60本
4,800人泊

②着地型旅行商品ブランド力向上支援事業 6,351千円

- ・マーケットインの視点での旅行商品づくり
(26年度の取組の継続)

安芸、高幡は
博覧会開催の中で対応

平成26年度の取組

【事業概要】全国から人を呼べる観光商品ブランドを生み出すため、旅行会社の専門家等の現地指導による地域資源の磨き上げを行うとともに、広域観光組織等の商品造成やセールス活動の取組を強化する。

各エリアの現状

- (幡多)
- ・大手旅行会社
→竜串地区を中心とした体験プログラム商品の造成
※土佐清水市体験プログラム造成
→四万十川の清流保全活動と連動したコンセプトの新たな観光資源づくり
- (高幡)
- ・大手旅行会社
→既存の観光資源を磨き上げ、パワフル向けプログラム商品を造成
※大正町市場食べ歩きプログラム造成
- (物部川)
- ・大手旅行会社
→既存の観光資源を組み合わせたパワフル向け旅行商品の造成
- (嶺北)
- ・有名料理店
→地元の食材を活用した「食」に関する新たな観光資源の造成
アドバイザー(産振活用)
:旅行会社、地域本部
※日帰りモニターツアーの催行(12月予定)
- (仁淀川)
- ・地域観光アドバイザー
→「宇佐一本釣りうるめいわし」のブランド力向上に向けたブランド化計画の策定
アドバイザー:旅行会社、仁淀川地域観光協議会
※日帰りツアー客目標3,500人
- (安芸)
- ・大手旅行会社
→高知家まると東部博に向けた旅行商品の造成
※製塩体験プログラム等 50件
ジオ鉄ツアー等 10件 等

取組の評価

- ①売れる商品づくり
- ・大手旅行会社
→土佐清水市体験プログラム
(27年度下期版で販売)
 - ・大手旅行会社
→大正町市場食べ歩きプログラム
(27年度上期版で販売)
- ②アドバイザーを通じて、関係者間で有名になる
- ・大手旅行会社による高知県単独パンフレットの作成
- ③広域観光組織の商品造成力の向上による組織力の強化
- ・幡多広域観光協議会ブランド化商品開発チームのスタート
 - ・東部地域博覧会推進協議会にイベント参加
 - ・宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化計画参加事業者の取組強化
 - ・中土佐町観光物産センターを中心としたエリアの商品開発

課題と今後の取組

- ①売れる商品づくり
- 課題
- ・商品造成数が十分ではない
 - ・店頭パンフ系(上期・下期の商品造成)では、タイムリーな販売につながりにくい
- 今後の取組
- ・エッジの効いた商品造成(継続)
→個々の資源の磨き上げ
→ツアー仕立ての作り込み
 - ・タイムリーな販売につなげる(新規)
 - ・より広域の視点での商品づくり(新規)
→県内全域を周遊できる旅行商品づくり
- ②アドバイザーを通じて、関係者間で有名になる
- 課題
- ・エリアによって成果のバラツキがある
- 今後の取組
- ・大手旅行会社の専門家等との更なる連携強化(継続)
- ③広域観光組織の商品造成力の向上による組織力の強化
- 課題
- ・自らが資源を発掘して商品化できる広域組織の育成
→商品づくりの一連の工程の習得
 - ・広域観光組織間で連携した商品づくり(広域観光組織連絡会議)
- 今後の取組
- ・旅行会社の専門家等のアドバイザーによる地域資源の磨き上げ(継続)
 - ・県内全域を周遊できる旅行商品造成力の強化(新規)

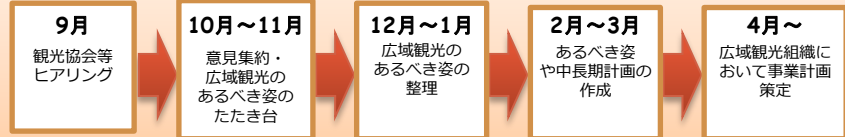
【広域観光組織が担うべき機能】

- ① 企画統括機能
 - ・ 戦略立案、県や市町村等との連携等
- ② 情報発信機能
 - ・ パンフ作成、HP・メルマガ、セールス活動等
- ③ 旅行取扱機能
 - ・ 総合窓口、着地型商品造成・販売等
- ④ 観光人材育成
 - ・ インストラクター養成等
- ⑤ 観光産業化
 - ・ 商品開発、地域内産品の販売

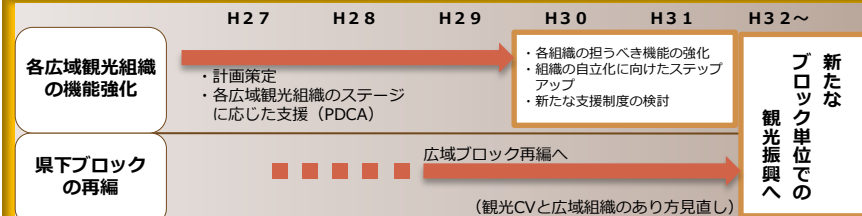
幡多広域の機能をモデルに、順次他エリアの機能強化を推進

1. 広域観光プロデューサーの活用 (4,904千円)
 - ・ 県全体の広域組織のあり方、再編計画づくり
 2. 広域観光組織連絡会議の開催 (90千円)
 - ・ 広域観光組織の情報共有や課題解決を図るための場づくり、ネットワークの構築
 3. 広域観光推進事業費補助金(案)(163,000千円)
 - ・ 広域観光組織の定める中長期計画等を踏まえ、ステージに応じた事業を補助(3年間程度)
 - ・ 補助先：広域観光組織
 - ・ 補助率：1/2
 - ・ 補助額
 - A (組織自立化) 250万円 (①～⑤)
 - B (ステップアップ) 150万円 (①～④)
 - C (その他) 200万円 (①②)
- ただし、ブランド化事業又は、食の旅行商品化に取組む場合は、300万円

広域観光組織のあり方<幡多と仁淀川の進め方>



(モデル) ・幡多：組織の機能強化 ・仁淀川：ステップアップ ・安芸：ポスト東部博



■仁淀川広域観光協議会

- ・構成 1市4町1村
- ・事務局体制 事務局長(兼務)以下計3名
- ・担っている機能 ①②③

【H26年度取組】
組織のステップアップに向けた計画作成(ブランド化事業活用)

【H27年度予定】
情報発信力の強化

■高知中央広域観光協議会

- ・構成 4市
- ・事務局体制(兼務) 事務局長以下計3名
- ・担っている機能①②

【H26年度取組】
博覧会実施に向けた組織づくり H27.3までに協議会を設立

【H27年度予定】
H28.4からの実施に向けた体験プログラムの造成・販売の強化等

■嶺北地域観光・交流推進協議会

- ・構成 3町1村
- ・事務局体制(兼務)／地域本部と4町村で分担
- ・担っている機能①②

■高幡広域観光推進本部

- ・構成 1市4町
- ・事務局体制 本部長以下計2名
- ・担っている機能 ①②③

■一般社団法人 幡多広域観光協議会

- ・構成 3市2町1村
- ・事務局体制 事務局長以下計7名
- ・担っている機能 ①②③④⑤

【H26年度取組】
組織の機能強化に向けた中長期計画作成(雇用事業活用) ・アドバイザー (H26～27)

【H27年度予定】
機能強化の計画を踏まえた旅行商品の造成・販売、教育旅行誘致、人材育成等を実施

■安芸広域市町村圏事務組合
(高知県東部地域博覧会推進協議会)

- ・構成 2市4町3村
- ・事務局体制 事務局長(兼務)以下計6名
- ・担っている機能 ①②③

【H26年度取組】
博覧会実施に向けた体験プログラム・着地型商品の造成、販売の強化

【H27年度予定】
博覧会の取組が継続できるよう旅行エージェント経験者を受け入れ(4月～)

■幡多地域

■高幡地域

■安芸地域

目標/外国人のべ宿泊者数の増加

平成25年実績 2.1万人泊

平成27年目標 3.2万人泊

26年度の取組

- 台湾WEBサイト等での情報発信による認知度向上
- 四国4県や民間施設と連携した商談会・旅行博等でのプロモーション(年14回)
- 旅行会社、商談会等でのセールス活動
- よさこい祭り・ジオパーク等の交流の仕組みづくり
- 他部局と連携したLCC・クルーズ船誘致
- 旅行商品造成の働きかけと観光商品紹介
- インセンティブ制度の実施
- 周遊ルートづくり

外国人延べ宿泊者数

2014年上半期 38.4%増
(全国の伸び率32.5%)

全体	9940人泊→13760人泊
台湾	2790人泊→4740人泊
香港	350人泊→1150人泊

課題

1.多言語による海外への魅力的な観光資源の情報発信

- ・国や顧客層、旅行形態にマッチした情報発信コンテンツが圧倒的に不足。
- ・他県と差別化できる本県の自然・食・体験型観光の魅力が海外に十分発信されているとは言い難い。
- ・増加する個人観光客にはWebでの情報発信が不可欠

2.継続したセールス活動

- ・県・CV職員が現地に出向くセールス活動のみでは頻度に限界がある。

27年度の取組

高知県の認知度の飛躍的な向上

- ①情報発信の強化
- ②セールス活動の強化

多言語WEBサイト
目標
月間13万ページビュー商談会・旅行博の参加目標
25年度 4回
26年度 14回
27年度 15回以上1.海外への情報発信コンテンツの充実による認知度向上 **NEW**

- 海外での認知度を向上させ、本県へのさらなる誘客を図るため、外国人観光客の観光情報源としてニーズの高い多言語によるWEBサイトやパンフレット・動画など、海外への情報発信コンテンツの充実による認知度向上
- ・多言語による情報発信WEBサイトの開設
- ・多言語による紙媒体(観光パンフレット)の制作
- ・プロモーション用の動画制作
- ・現地メディアでの露出(PR効果の高い雑誌への高知県観光情報の提供)

2.戦略的・計画的なセールス活動の強化 **拡充**

- ・現地窓口機能の整備
- ・JNTO海外事務所及び県シンガポール事務所への定期的な情報提供と情報収集
- ・商談会や海外展示会(台湾・香港・シンガポール・韓国等)への参加
- ・VJ地方連携事業への積極的な参画(高知県東部周遊、サイクリング、ゴルフ)
- ・新たな市場へのセールスキャラバンの実施
- ・海外旅行会社やメディア招聘の積極的な受入

台湾・香港
を重点市場
として展開民間と連携して推進するため
官民協働ワーキングを設置

つくる

- 外国人観光客のニーズにあった商品の発掘と造り込み

売る

- ニーズのあるターゲット国とパートナーとなる海外旅行会社の開拓

受け入れる

- 農業体験等、受入れ施設の仕組みづくり(31施設を確保)
- おもてなし添乗員の育成と確保(6名)

- ・香港・シンガポール・台湾・タイの7社のモニターツアー招聘を調整中
- ・来年4月のクルーズにオブショナルツアーを9本提案

つくる

- ・外国人目線での観光資源のブラッシュアップと発掘
- ・顧客のニーズにきめ細かく対応できる商品の造成

売る

- ・高知県の認知度向上のための効果的なプロモーションの展開
- ・他社と差別化する商品を販売する旅行会社へのセールス活動の強化

受け入れる

- ・農家等の安定した受入体制の仕組みづくり
- ・県内にノウハウを蓄積するための「おもてなし添乗員」の育成と確保

プロジェクトのさらなる深化

- ①他県と差別化した「質」の高い旅行コンテンツの提供でリピーター層の取り込み
- ②県内観光施設の受入拡大

つくる

- ・外国人目線での観光素材の発掘・受入れ地域の拡大 **拡充**
- ・「エージェント向け素材集」の多言語化

売る

- ・パイプができた海外旅行会社に対するツアー造成の徹底したセールス活動
- ・高知家流おもてなしプロジェクトのパートナーとなる旅行会社の拡大
- ・取組事例の情報発信

受け入れる

- ・外国人受入に向けた受入れ農家等のネットワーク化
- ・おもてなし添乗員のさらなる確保と育成 **拡充**

- ・ツアー催行 18本
(7社×2本、シンガポール3本、ロシア1本)
1,080人泊(20人×3泊×18本)
- ・クルーズ船オブショナルツアー 150人(30人×5本)
- ・モニターツアー実施 5本
- ・受入可能施設を倍増
- ・おもてなし添乗員を10名確保

官民協働ワーキングを
発展させ、プロジェクトを
強力に進めるための
「高知家流外国人おも
てなし協議会」(仮
称)の設置を検討

現在の動向

外国人観光客の増加

<国>
H25 1,000万人突破
H26 1,300万人超見込
(1~10月前年比27%増)

<高知県>
H25 2.1万人泊
(H26上半期前年比38%増)

外国人観光客のニーズ

- 旅行中困ったこと
 - 1位: Wi-Fi環境
 - 2位: コミュニケーション
 - 3位: 目的地までの経路情報の入手

- 日本で体験した活動
 - 1位: 日本食を食べる
 - 2位: ショッピング
 - 3位: 繁華街の街歩き

<H23観光庁調査>

国の取組

観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014

- ショッピング・観光振興免税店10,000店規模(倍増)
※現在9,361店(H26.10.1) 4月と比較し62%増
- 多言語対応の強化
- 無料Wi-Fi整備

緊急に整備すべき事項

標識・サインの多言語化

周遊先の観光地や観光施設、商店街等への拡大

案内ツールの多言語化

周遊先の観光地や観光施設、店舗等への案内パンフレット・マップ、飲食メニュー、音声翻訳の拡大

トイレのユニバーサル化

主な観光拠点での多言語案内表示とセットによる洋式化

無料公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境の整備

<現状: 観光施設整備率 約2割>

周遊先でネット利用できるよう、観光施設、道の駅に整備を拡大

消費税免税店の拡大

<現状: 高知県内免税店 11店舗>
(H26.10.1現在)

商店街全体・観光地全体での開設

外国人観光客受入アクションプランに基づき、計画的・総合的に推進

平成27年度の取組

NEW

国際観光受入態勢整備事業費補助金

- 目的: 外国人旅行者の受入基盤整備を短期間で強力に推進
 - ① 多言語対応 (表示、案内)
 - ② トイレ洋式化
 - ③ 通信 (Wi-Fi環境)
 - ④ ショッピング (消費税免税店)
- 期間: 2か年限定 (平成27~28年度)
- 見積額: 34,000千円

補助先	①市町村等	②組合団体等 (商店街、商工会、旅館ホテル等)
補助対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多言語観光案内板 ○ 外国語パンフレット、マップ ○ 外国語案内ツール ○ Wi-Fi環境整備 ○ トイレ改修 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多言語観光案内板 ○ 外国語パンフレット、マップ ○ のぼり等PR資材 ○ 外国人対応マニュアル ○ 免税店開設 等
補助率	1/2 ※Wi-Fi整備: 2/3	2/3

目標

【H27年度 誘客目標】
3.2万人泊



【H28年度末 整備目標】

- <観光施設、道の駅>
- 観光案内板 14箇所
 - パンフレット 23箇所
 - ホームページ 24箇所
 - 館内案内サイン20箇所
 - トイレ改修 29箇所
 - Wi-Fi整備 62箇所
 - 免税店開設等 22箇所
- <商店街・旅館ホテル>
- 商店街等 6団体
 - 旅館、ホテル等 2団体

